

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

February / 9 / 2024 # 131

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『New gears』

[2] Pepeのひとりごと

『優先順位』

[3] 演奏のヒント！

『低音域 Part 2』

[4] 編集後記

---

[1] 旬な話題、気になる話題

『New gears』

少し前から、練習のときに使っている練習用ミュートを、ヤマハの「サイレントブラス」に替えました。

サイレントブラスは、トロンボーン用もユーフォニアム用も前のモデルは使っていたことがありました。

かなり長い間使っていたのですが、ネックは重さでした。

で、その後YUPON社さんの練習用ミュート（YUPONではサイレンサーミュートといいます）の開発に極力させていただき、それ以降はずっとYUPON社のサイレンサーミュートを使っていました。

12月に東京へ行ったときに、在京オケのトロンボーンの方お2人に  
すごくいいよ、と勧められて、運良くその場でトロンボーンのものは  
試すことができました。

噂（話？）通り、とっても良くなっていました！  
前のモデルはピックアップミュートだけで、サイレントブラスの装置は  
使ったことなかったのですが（持っていなかった）、初めて試してみて、  
驚きました！！

そして、重さもずいぶんと軽くなっているし、ベルの中にも収納できる！

その後、ユーフォニアム用も試させていただいて、結局どちらも購入すること  
となりました。

はい、金額はけっこうします（汗）。  
しかし、自分のミュートを付けての練習時間のことを考えると、ここで  
買っておいたほうがいい、という判断をしました。

あ、今回はサイレントブラスの装置も買いました。  
まだ家では試していないけど（ミュートだけしか使っていません）、また  
いい響きの中での音も体験して気分転換していきます！

興味を持っていた方、ぜひ一度、お試してください！！

## [2] Pepeのひとりごと

### 『優先順位』

もう1年くらいにはなると思いますが（もしかしたらもっと前からかな？）、  
自分の生活の中の優先順位を変えて過ごしています。

とは言っても、やっていることはとてもシンプルで、睡眠時間の優先順位を  
ぐっと上げてみた、というだけのことです。

これ、ず〜〜〜っと大事だとは思っていたのですが、なかなか思い切っては  
できていませんでした。

で、やっと1年くらい前から思い切って優先順位をぐっと上げることを  
やっているのですが、結果、とてもいい感じです。

これの難しいところは、他のやりたいこと、自分の中での優先順位の高いもの  
を捨てる（あきらめる）ことでした。

そう、「睡眠時間の優先順位を上げる」ことより「他のことの優先順位を  
下げる＝やらない」ということが難しいんです。

これに気づくのにかなりの年数をかけてしまいましたが（笑）、今はいい感じに過ごせていると思います。

個人的なコツとしては、「毎日○時間寝る！」と決めるのではなく、「○時間寝られるようにする」ということはしますが、感覚としては、「1週間や10日間で半分くらいは○時間寝る！」という感じです。こうすると、睡眠時間を取ることにへの頑張りが少し変わってきて、過ごしやすくなると思います。

睡眠時間の確保を課題と感じている人は、ぜひ試してみてくださいね。

### [3] 演奏のヒント！

#### 『低音域 Part 2』

今回は、先月に続いて「低音域 Part 2」というテーマで。

先月号では低音域のときの口の中の容積について書きました。今回は、息のスピードについてです。

前は口の中の容積を多く取りすぎているために、低音域での音のコントロールがうまくできなくなっていることがある、ということを書きました。

今回の息のスピードに関しても、それと関係してきますね。そう、口の中の容積が大きいと、同じように息を吐いたとしても、楽器へ入っていく息のスピードは遅くなってしまいます（口の中の空間でスピードが失われてしまうから）。

「低い音を演奏するときは、息のスピードは遅く」

これはとても大切なことなのですが、ここで気にしてもらいたいののが、「低い音」という言葉。この言葉を「○○の音より低い音」という認識で捉えていると、口の中の容積や息のスピードをコントロールできなくなってしまうがちです。

「○○の音より低い音＝低い音（もしくは低音域）」と捉えてはいませんか？このように捉えていると、例えば極端な話、低いFの音とペダルのB♭の音を同じ口の中の容積や息のスピードで吹いていることになってしまいます。

同じような感じとまではいなくても、ほぼ同じような感じで吹いてしまっている人って、けっこういるようです。

確認、練習方法として僕は、例えばペダルのB♭とそのオクターブ上のB♭を

しっかりとオクターブと認識して、そこからFの息を確認して、口の中の容積や息のスピードのバランスを取るようになっています（自分でもやっていますし、レッスンでもそう言っています）。

ポイントとして、「低音域を漠然と捉えない」ということですね。

しっかりどの音からいくつ上の音なのか、どの音からいくつ下の音なのか、を考えながらやってみてください。

そうすると、ちょうどいいバランスが見つかると思います。

---

#### 編集後記

気がつけば、もう2月になっていますね！

あっという間だなあ・・・。

去年に一度、いろいろな曲の音出しだけはやっていたのですが、今年から、本格的にブラス・トリオでの活動も視野に入れて動き始めています。

メンバーは、同じオケのメンバーで、トランペットの白水さんとホルンの青木くんです。

まだまだ何も決まっていない状況ではありますが、この3人でいろいろなところでいろいろな曲を演奏していきたいと思っています！

コンサートなどの開催に興味のある方は、まずは気軽に連絡ください！

楽しい室内楽活動、満喫しています！！

---

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)

---

©阿部竜之介 『Pepeの視点』の配信停止はこちらから

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>